

自殺総合対策大綱の見直しに向けた民間団体ヒアリング（第2回）

議 事 次 第

（ 日時：平成24年5月31日（木）13:30～16:30
会場：メルパルク大阪4階ソレイユ ）

1. 開会
2. 参加団体からの発表
3. 意見交換
4. 閉会

自殺総合対策大綱の見直しに向けた民間団体ヒアリング（第2回）参加団体

開催日時：平成24年5月31日（木）13:30～16:30

開催場所：メルパルク大阪 4階 ソレイユ（大阪府大阪市淀川区宮原4-2-1）

都道府県		団体名
1	三重県	ハーティ 友手
2	滋賀県	滋賀県断酒同友会
3	京都府	特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター
4	大阪府	カウンセリングスペース「リヴ」
5	兵庫県	NPO法人 多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス
6	奈良県	奈良県臨床心理士会
7	和歌山県	特定非営利活動法人 心のSOSサポートネット
8	鳥取県	鳥取県司法書士会
9	島根県	社団法人 島根県断酒新生会
10	岡山県	NPO法人 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ
11	広島県	NPO法人 たけはらふれあい館
12	山口県	自死遺族わかち合いの会 木洩れ陽
13	徳島県	特定非営利活動法人 Approach For Life Saver
14	香川県	香川大学
15	愛媛県	NPO法人 松山自殺防止センター
16	高知県	社団法人 高知県薬剤師会
17	福岡県	福岡県司法書士会
18	佐賀県	佐賀ビッグフット
19	長崎県	NPO法人 自死遺族支援ネットワークRe
20	熊本県	消費者教育NPO法人 お金の学校くまもと
21	大分県	社団法人 大分県断酒連合会
22	宮崎県	NPO法人 たかはるハートム
23	鹿児島県	特定非営利活動法人 かごしまホームレス生活者支えあう会
24	沖縄県	一般社団法人 沖縄県社会福祉士会

団体資料目次

ハーティ 友手	1
滋賀県断酒同友会	2
特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター	3
カウンセリングスペース「リヴ」	4
NPO法人 多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス	5
奈良県臨床心理士会	6
特定非営利活動法人 心のSOSサポートネット	7
鳥取県司法書士会	8
社団法人 島根県断酒新生会	9
NPO法人 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ	10
NPO法人 たけはらふれあい館	11
自死遺族わかち合いの会 木洩れ陽	12
特定非営利活動法人 Approach For Life Saver	13
香川大学	14
NPO法人 松山自殺防止センター	15
社団法人 高知県薬剤師会	16
福岡県司法書士会	17
佐賀ビッグフット	18
NPO法人 自死遺族支援ネットワークRe	19
消費者教育NPO法人 お金の学校くまもと	20
社団法人 大分県断酒連合会	21
NPO法人 たかはるハートム	22
特定非営利活動法人 かごしまホームレス生活者支えあう会	23
一般社団法人 沖縄県社会福祉士会	24

NPO法人ハーティ・三重県支部（ハーティ友手）の活動について

〔ハーティ友手の概要〕 傾聴サークルとして、533：年より活動

- ・所在地：三重県鈴鹿市 ・代表者 日比 厚
 - ・会員の構成…代表、副代表、会計、広報担当のほかサークルとしての会員は48名。
ハーティ所属のカウンセラー認定者は63名。
 - ・活動目的／内容…こころのサポート：ハーティ友手として活動している。悩みを聴いてもらえる場所作り、聴くことのできる人作り、また、啓発活動のイベントやボランティア活動に取り組んでいる。また市民とのネットワーク作りの中で福祉行政の方、メンタルクリニックの医師、市議会議員も一市民の立場で、安心の町作りのために関心を持って参加してくださっている。
 - ・活動内容…☆『傾聴カフェ』思いのままに悩みを語れる場所、カウンセラーがいる喫茶店、守秘を約束。☆ボランティア活動『ハッピーになり隊』…介護施設へ出向き、アロマハンドマッサージや喫茶のもてなしをしながら話を聴く。☆『傾聴入門講座』…人材の育成。講師は、キャリアカウンセラーの資格を持つサークル会員が務め、即戦力を養う。
- ☆『傾聴トレーニング講座』スキルアップのため毎月開く学習会。
メンタルパートナー指導者講座にも参加し全会員が資格を取った。回想法、交流分析（エコグラム）、バウムテスト技法など学習して、対話のスキルアップを図る。
- ☆『啓発のためのイベント』講習会やコンサートなど、自殺防止を考える市民団体と共催。広く市民に訴える活動。希望者にアロママッサージをして傾聴し、好評。
-

〔自殺総合対策大綱改定に向けての意見〕

活動を通して感じていることは、自殺を予防するためには、悩んでいる方々の話を聴く人作り、場所作り、安心して話せる地域作りが必要だということ。その為にはネットワークが重要になる。いのちの大切さについて訴えるフォーラムで得られたアンケートの結果でも、「悩んでいる人が気軽にふらりと訪れて話ができる場所」を必要とした意見が多かった、「人と人のつながりや温かい交流」を望む声もあった。「助けて」とサインを出せば誰かがサポートしてくれるという安心感が欲しい。これは行政の力を借りなければできないが、窓口に行くにあちらこちらと案内されて、心の悩みを持つ人には辛いと聞く。ワンストップサービスのように、相談窓口の敷居は低い、内部では様々な専門性を持った行政、ボランティア、医療がネットワークを作って、ひとりの悩みを解決の見通しがつくところまでサポートできたら、と考える。これは傾聴活動をしている私共団体にとっても、リファー先があるという安心感を与えてくれる。さらにセーフティネットを作っている団体や機関の情報交換の場も定点で欲しい。

公益社団法人 全日本断酒連盟 滋賀県断酒同友会の活動について

【滋賀県断酒同友会の概要】

- 所在地 滋賀県米原市天満 147 川崎 正磨方(事務局) ●代表者 西浦 正 ●組織内容 事務局 県内支部 14 支部、朝例会、昼例会 会員 150 名 家族会員 80 名
- 活動目的・内容 滋賀県において、酒害に苦しむ人達、アルコール依存症者が酒を止めて回復し人生をやり直す、また支援する活動をしている。また自殺対策については、啓発として、「アルコール依存症と自殺問題」と題して市民公開セミナーを開催し、お酒で苦しんでいる人、アルコール性うつに陥っている人の自殺問題を取り上げ、行政、医療の協力を得ながら、市民、地域の人たちへ理解し、気づいてもらう啓発セミナーを行っている。断酒会員調査で自殺企図は 40.7%、その内自殺未遂は 20%であり、企図した時は酒で苦しんでいる時である。アルコールで苦しんでいる依存症者は常に自殺に向き合っている。防止したい。

●活動内容

- ・ アルコール問題を抱える人たちが、断酒例会活動を行っている。(14 支部各曜日、朝例会、昼例会) 例会開催日に酒害相談も行っている。(県酒害相談事業)
- ・ 相談会の開催 アルコールやアルコール以外のところの悩みの相談会の実施。年 1 回(県内 8 か所) (県自殺対策事業)
- ・ 啓発 市民公開セミナーの開催 「アルコール依存症と自殺問題」 問題飲酒者の、自殺への危険性を理解してもらい、本人、及び特に家族に、相談、治療に向き合ってもらう事の提議。(県自殺対策事業)

【自殺総合対策大綱改定に向けての要望、意見】

- 問題飲酒、アルコール依存症は失う病であり、最初に信用、次いで、仕事、そして家族、最終は死(自殺)に至る。治療、自助組織に向かわせる事が、自殺予防に結びつく。
- 断酒会で相談会を行っているが、広報に苦慮している。総合相談も、どこに相談に行けばよいか、市民に知らしめる対策が必要。